

政策創造員による調査・研究活動の中間報告について

平成 28 年 10 月 21 日
戦略企画部企画課

1. 調査・研究の目的

中長期的かつ部局での取組が困難な課題を対象に、既存の枠にとらわれず幅広い視点から調査・研究に取り組むことを通じて、メンバーの政策創造能力の向上をめざす。

2. 中間報告の位置づけ

研究テーマに関する課題、研究目標、現在までの到達点、最終報告に向けた課題等について、豊富な知識と経験を有する幹部職員に中間報告を行い、ご意見、ご指摘をいただく。

3. 調査・研究テーマ

テーマ	調査・研究の趣旨
【WG1】 生産性の低い農家の 幸福な退場～め げせ！“本気で” もうける農業～	三重県の農業振興を進めるためには、グローバル化の波に左右されない強くてもうかる農業を安定的に実現していく必要があるが、それが進展しているとは言いがたい状況にある。その背景には、大部分を占めている高齢・小規模な農家の存在や、新規参入希望者にとってのボトルネックである農地確保の困難さなどがあると考えられる。 本研究では、非効率な農地及び生産性の低い農家を減らし、生産性の高い農家だけに絞り込む選択と集中の方策を探るとともに、新規就農希望者や大規模農業経営法人等が参入・事業拡大しやすい環境の整備等により、国際競争に耐え得る、強い農業構造へと抜本的に改革するための三重県方式の確立をめざす。
【WG2】 児童養護施設の子 どもに「英才教育」 を！～“格差”か ら“活躍”へ。夢・ 希望発信プラン～	子どもの貧困が問題とされる中、子どもの貧困ピラミッドの最上位にあたるともいわれている児童養護施設の子どもの焦点を当て、「英才教育」 ^(※) や経済的支援を行うなど、児童養護施設の子どもの自らの夢を実現し、県民に夢と希望を与えられる人材となるための支援策について研究を行う。 ※ 英才教育とは、一般的には「才能の優れた児童・生徒に対して、その能力を伸ばすために行う特別な教育」を表すが、ここでは、「すべての子どもは無限の可能性を持っており、その可能性を最大限に引き出す教育」として扱う。
【WG3】 人工妊娠中絶ゼロ 社会の実現に向け て	日本の人口は、近年減少局面に入っており、少子化問題は社会経済の根幹を揺るがしかねない待ったなしの課題となっている。一方で、国内の年間人工妊娠中絶件数は約 20 万件あり、約 100 万人とされる年間出生数の 2 割にもものぼるという現状がある。しかし、日本では、こうした現状があるにも関わらず、人工妊娠中絶の是非に関しては、社会的な議論として盛り上がりを見せていない。 こうした現状に一石を投じるため、本研究では、望まない妊娠がなくなり、誰もが望みどおり出産できる、胎児の生命・権利が最大限尊重され、結果的に出生数の増加にも寄与する「人工妊娠中絶ゼロ社会」の実現に向けて、①胎児の権利を尊重する立場からの新たな価値観の提案、②人工妊娠中絶の禁止、③女性が安心して産み育てることができる環境の整備、の 3 つの観点から複合的な検討を行う。
【WG4】 車を運転しなくて も、日本一自由自 在なイ・ナ・カ	人口密度が低い地域（いわゆる田舎）では、輸送人員過小による不採算路線からの交通事業者撤退等により、地域の公共交通ネットワークは大幅に縮小しており、みずから自動車が運転できない住民は、さまざまな機能へのアクセスが制限される状況にあると考えられる。また、このようなことを念頭に置くと、高齢化率が高い地域の住民の中には、運転能力に自信がないにも関わらず、必要に迫られて自動車を運転せざるを得ない高齢者が多くいるのではないかと考えられる。 上記の状況を脱却し、すべての住民が「みずからの自動車運転」に制限されることなく、さまざまな機能に極めてアクセスしやすい「機能保障」型の交通システム等を実装した「日本一暮らしの質が高い田舎」の姿を提示する。

4. 報告のポイント

- ・ 目的と研究の流れ（どういう考え方でどのように進めてきたのか）
- ・ 現在までの到達点（これまで何が明らかになったのか）
- ・ 最終報告に向けた課題（今後の作業に向けた課題は何か）

5. 今後の予定

引き続き、調査・研究活動に取り組み、来年2月に最終報告書に取りまとめる。

政策創造員ワーキンググループメンバー表

【ワーキンググループ1】

生産性の低い農家の幸福な退場 ～めざせ！“本気で”もうける農業～

防災対策部防災対策総務課	主任	中野 真豊
戦略企画部広聴広報課	主事	吉住 尚哉 ◎
総務部四日市県税事務所	主事	富村 美和
県土整備部県土整備総務課	主幹	川北 健司
病院事業庁県立病院課	主任	笹岡 優
教育委員会事務局上野高等学校	事務職員	瀬田 裕昭

【ワーキンググループ2】

児童養護施設の子どもの「英才教育」を！～“格差”から“活躍”へ。夢・希望発信プラン～

戦略企画部戦略企画総務課	主任	中瀬 達也
総務部税務企画課	主事	加藤 俊輔
環境生活部環境生活総務課	主査	西尾 真由子
農林水産部農地調整課	主事	東口 大輝
企業庁企業総務課	主事	宮脇 健太
教育委員会事務局名張青峰高等学校	事務職員	前坂 夏輝 ◎

【ワーキンググループ3】

人工妊娠中絶ゼロ社会の実現に向けて

戦略企画部企画課	主査	杉原 仁
地域連携部南部地域活性化推進課	主任	村井 裕美子
農林水産部森林・林業経営課	主任	大西 達也 ◎
雇用経済部中小企業・サービス産業振興課	主事	渡邊 栄彦
県土整備部四日市建設事務所	主査	松本 雄一
出納局出納総務課	主事	掛橋 正紀

【ワーキンググループ4】

車を運転しなくても、日本一自由自在なイ・ナ・カ

戦略企画部政策提言・広域連携課	主査	伊東 雅之 ◎
健康福祉部健康福祉総務課	主任	南濱 由樹
農林水産部松阪農林事務所	主任	鈴木 将史
雇用経済部雇用経済総務課	主任	木平 浩介
県土整備部伊賀建設事務所	主事	中保 友里
教育委員会事務局教育財務課	主任	川上 裕正

※◎は前期グループリーダー